

【別紙様式】

<p>裾野市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	赤十字病院医療機器整備費補助金		
総事業費 (千円)	10,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	10,000千円
事業概要	<p>①目的 一般外来や入院患者の減少といった経営面での影響を考慮し、また、急性期の医療体制のサポートをするため、新型コロナウイルス感染症の院内感染防止や患者受入れに必要な物資等を購入する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 補助金：10,000千円 ・感染症病棟用複合機 308,000円、新型コロナ感染対策資材倉庫 917,213円、簡易診察室用テント一式 308,000円、解析付心電計 1,155,000円、その他消耗品 789,540円、PCR検査委託費 7,766,000円 計 11,243,753円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 裾野赤十字病院  2) 交付対象者の選定理由・選定方法 新型コロナウイルス感染患者を受け入れる病院の医療体制サポートを目的とするため。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の院内感染防止、患者受け入れの際に必要な設備や物資の確保。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>医療物資が品薄となり、安全の確保がされない状況での対応は医師を始めとしたスタッフの心身への負担が大きく、医療体制への影響は計り知れない。しかし、この状況は当面継続すると考えられ、一般外来や入院患者の減少といった経営面での影響も生じる可能性が高い。 特に市内の救急医療に関しては裾野赤十字病院にかなり依存しているため、院内感染対策等を支援し、急性期の医療体制のサポートもする必要があり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		